

2019年3月期 決算説明会資料

株式会社 F U J I



目 次

- 会社概要
- 決算概要
- 2020年3月期 業績予想
- 事業方針・その他

会社概要

会社情報

(2019年3月現在)

設立	1959年4月7日
資本金	58.78億円
従業員数	2,449人
売上高	1,291億円
営業利益	231億円
経常利益	234億円
主要製品	電子部品実装ロボット 工作機械



本社外観（愛知県知立市）

海外拠点： アメリカ、ドイツ、中国、ブラジル他

主な沿革

1959年	名古屋市中川区昭和橋において富士機械製造株式会社を設立
1970年	米国現地法人フジ アメリカ コーポレーション設立（現連結子会社）
1971年	NC自動旋盤完成
1978年	電子部品自動挿入機 BA完成
2003年	モジュール型高速多機能装着機 NXT完成
2010年	超高密度 大気圧プラズマユニット Tough Plasma完成
2013年	東京証券取引所市場第一部上場
	モジュール型生産設備 DLFn 旋盤モジュール完成
2014年	中国・昆山工場操業開始
2016年	パブリックストックシステム Quist完成
	移乗サポートロボット Hug完成
2017年	小型多関節ロボット SmartWing完成
2018年	「富士機械製造株式会社」から「株式会社F U J I」へ社名変更
	ファスフォードテクノロジ社を完全子会社化

拠点



昆山之富士機械製造有限公司

タワーファクトリー
ゲーエムベーハー



フジ ヨーロッパ コーポレーション
ゲーエムベーハー

富社(上海) 商貿有限公司



フジ アメリカ コーポレーション

フジ マシン アメリカ コーポレーション



本社

大阪支店

豊田工場

岡崎工場

仙台営業所

ファーストテクノロジー株式会社

東京支店

株式会社エデックリンセイシステム

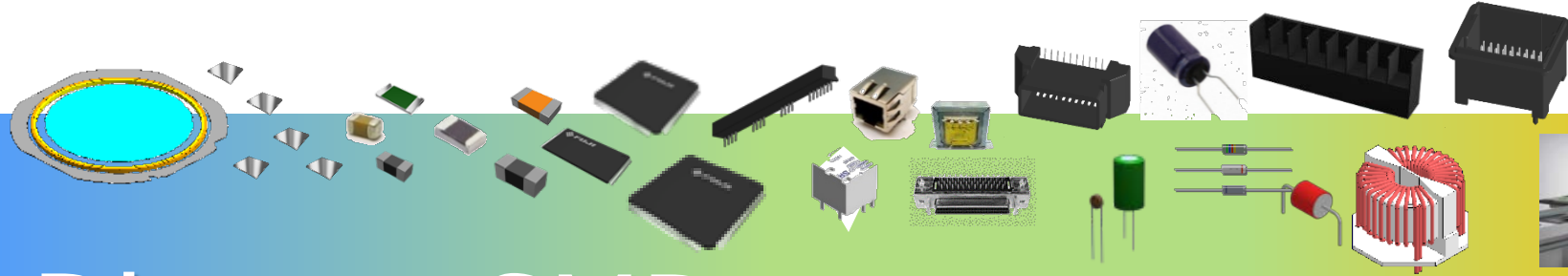
株式会社アドテック富士



フジ ド ブラジル マキナス
インダストリアイス リミターダ

- . . . 工場・支店・営業所
- . . . 子会社

ロボットソリューション事業



Die

SMD

挿入部品

組立



NXT-III NXT-III AIMEX-III sFAB-α sFAB-D SmartWing
Fuji Scalable Placement Platform

印刷関連

プラズマ関連

物流・Eコマース関連

介護業界

スマートファクトリーを
実現するキーシステム

Nexim



GPX-C

Tough Plasma

Quist

Hug
移動サービスロボット

大気圧プラズマユニット Tough Plasma FPF20-GM

◆世界最高レベルの表面改質

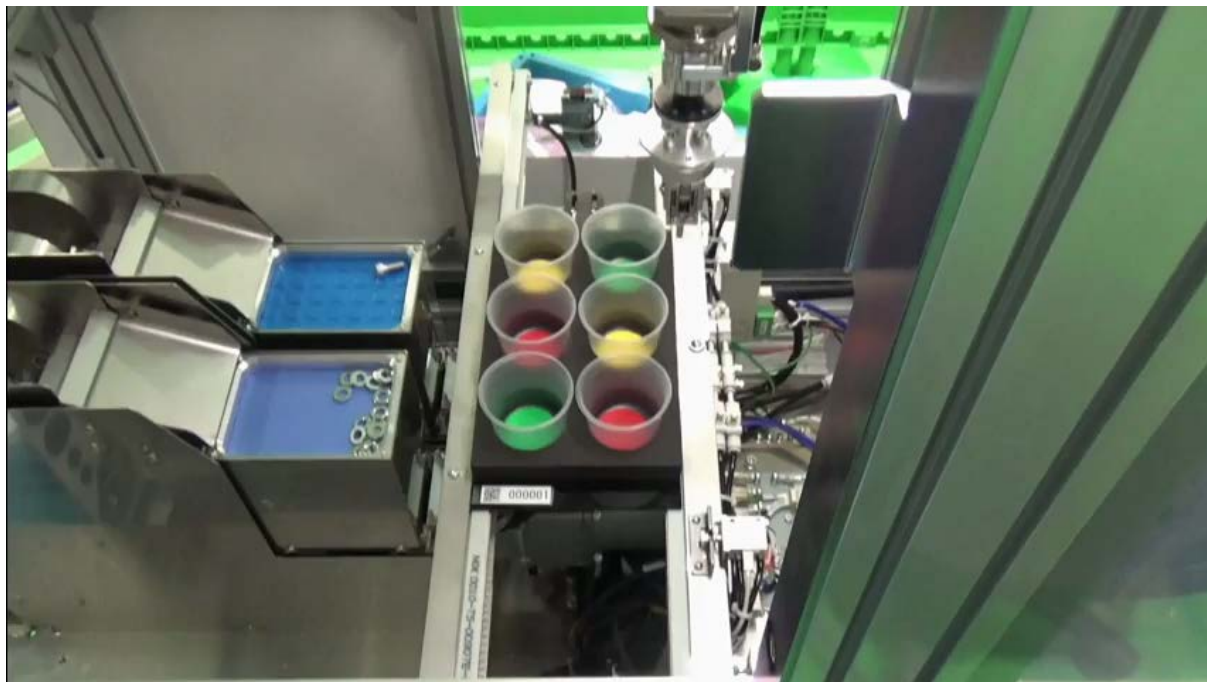


自動車・航空宇宙・医療機器・電子部品等
の異種材料の接着前処理

海外規格認証取得：欧州CEマーク
北米UL認証

小型多関節ロボット SmartWing

- ビジョンシステムを標準搭載
- 座標補正技術とビジョンデータを活用し、ティーチングの手間を削減。
立上げ時間を従来に比べて約40%削減することができます（当社規定動作による比較）
- ロボットに登録済みの動作に『何を』『どこに』の情報を与えるだけの簡単な操作で、ロボットの動作を作成することが可能



このような簡便さ、新しさが海外でも評価を受けました



移乗サポートロボット



いつでも、誰でも、手軽に、ロボット介護を実現

- ①コンパクト・軽量化により在宅環境に適合
- ②在宅向けの価格帯にてご提供
- ③立つ・座るの2つのボタンでシンプルな操作性
- ◆大手レンタル卸し事業者と契約、介護保険レンタル開始
- ◆バリアフリー展（大阪）2019/4/18-20 出展

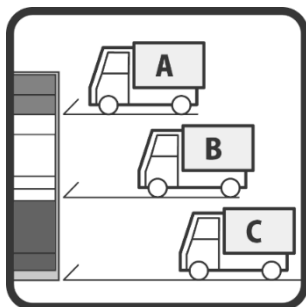
身体的負担を軽減



ボタン一つで体重100kgの人も安全に抱え上げ



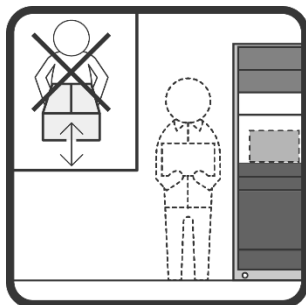
パブリックストックカシステム **Qui**st



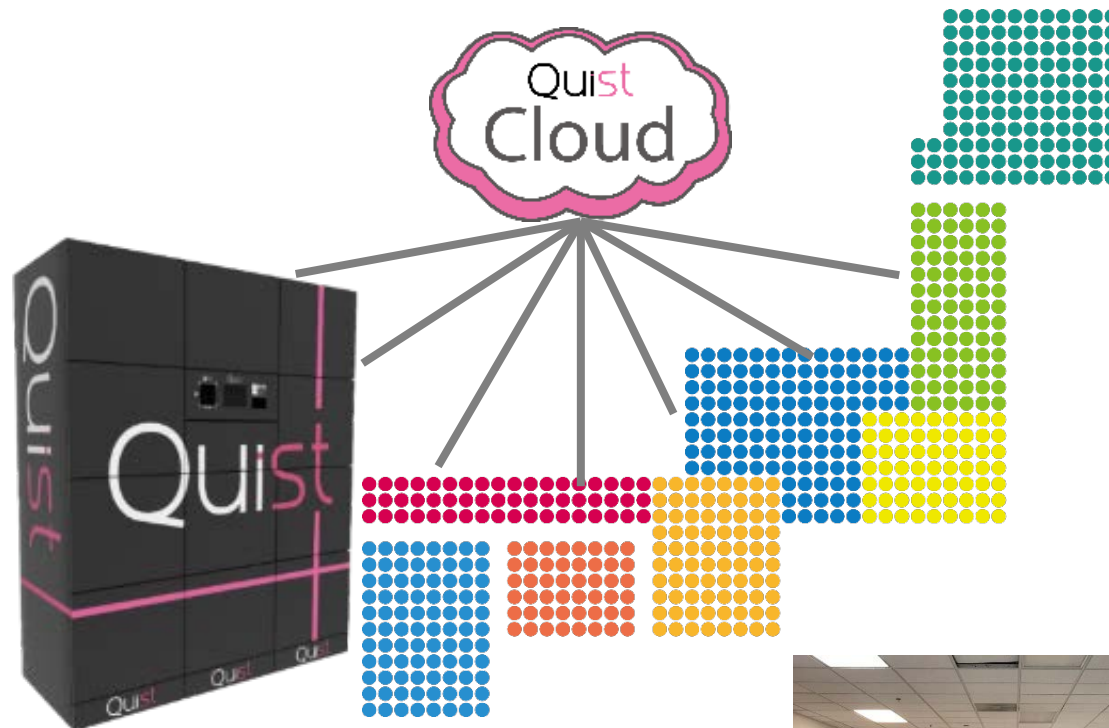
マルチキャリア



マルチユース



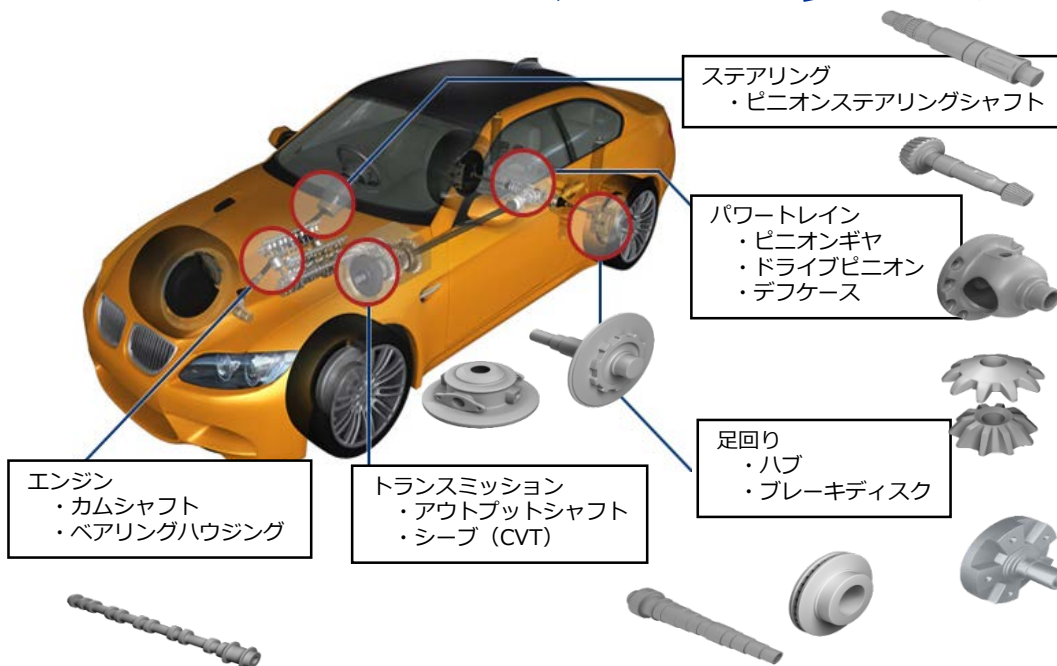
ゼロオペ



- ・大手物流キャリア2社とのシステム連携を可能に
- ・業界トップレベルの防塵・防水性能を実現 (IP54)
- ・米シリコンバレーにて自動運転を手掛けるスタートアップ企業との次期実証実験を計画



マシンツール事業

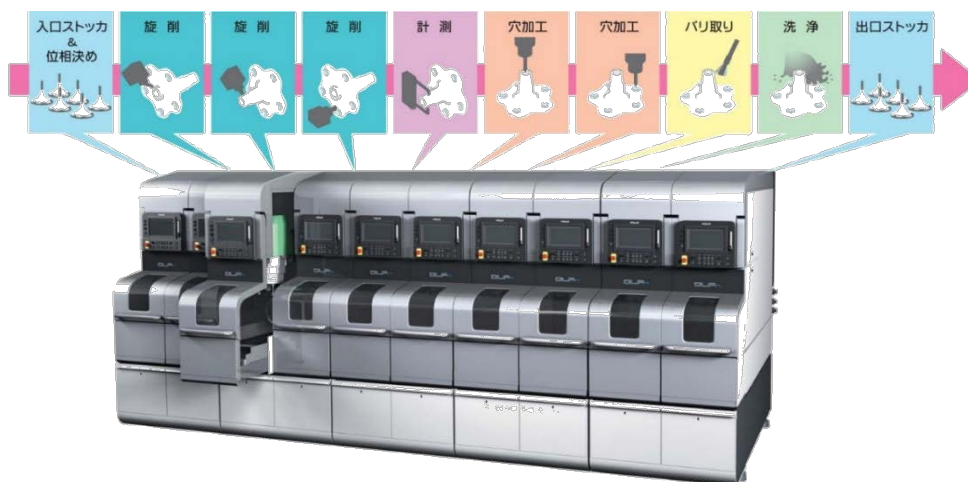


正面2スピンドル旋盤 CSシリーズ



モジュール型生産設備

DLF



横型NC旋盤

TNシリーズ



決算概要

注：2018年8月に株式を取得し子会社としたファスフォードテクノロジー株式会社を
2019年3月期第3四半期より連結業績に含めております。

決算のポイント

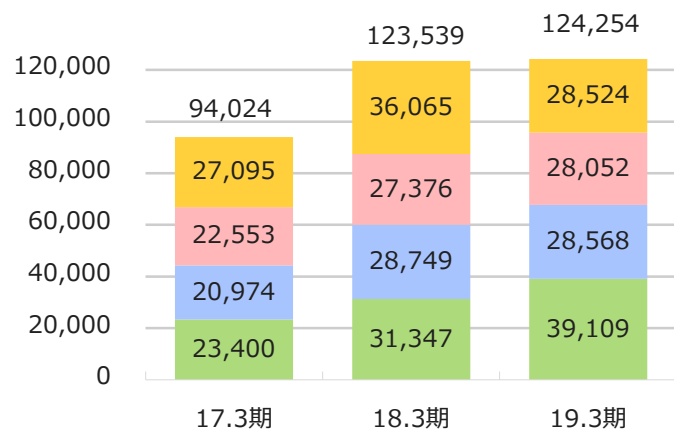
- 世界経済においては米中貿易摩擦をはじめとした不安材料はあるものの、設備投資需要は底堅く推移し、売上高、営業利益ともに過去最高となりました。
- ロボットソリューション事業
景気の先行き不透明感から中国市場を中心に顧客の設備投資に慎重な姿勢が見られたものの、当社の主力市場である通信関連向け設備投資のほか、コンピュータ、サーバー関連等も堅調に推移いたしました。
- マシンツール事業
自動車関連向けを中心に底堅い需要があり、特に中国市場及び東南アジア市場における販売が大幅に伸長しました。

2019年3月期 業績

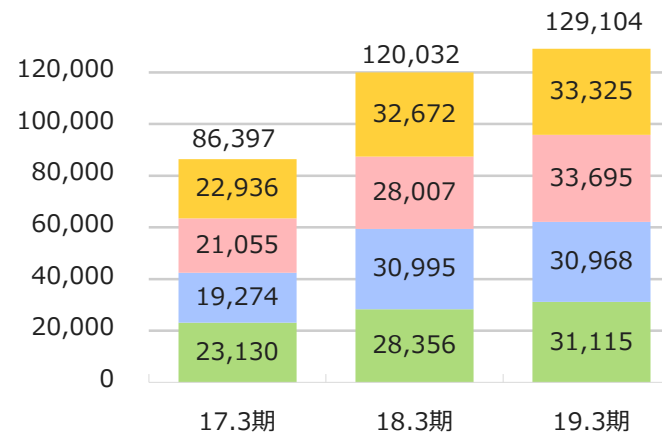
(百万円)

	18.3期 実績	19.3期 実績	対前年同期	
			額	率
受注高	123,539	124,254	+714	+0.6%
売上高	120,032	129,104	+9,072	+7.6%
営業利益	22,827	23,106	+279	+1.2%
経常利益	23,538	23,454	▲83	▲0.4%
当期純利益	17,523	16,855	▲668	▲3.8%

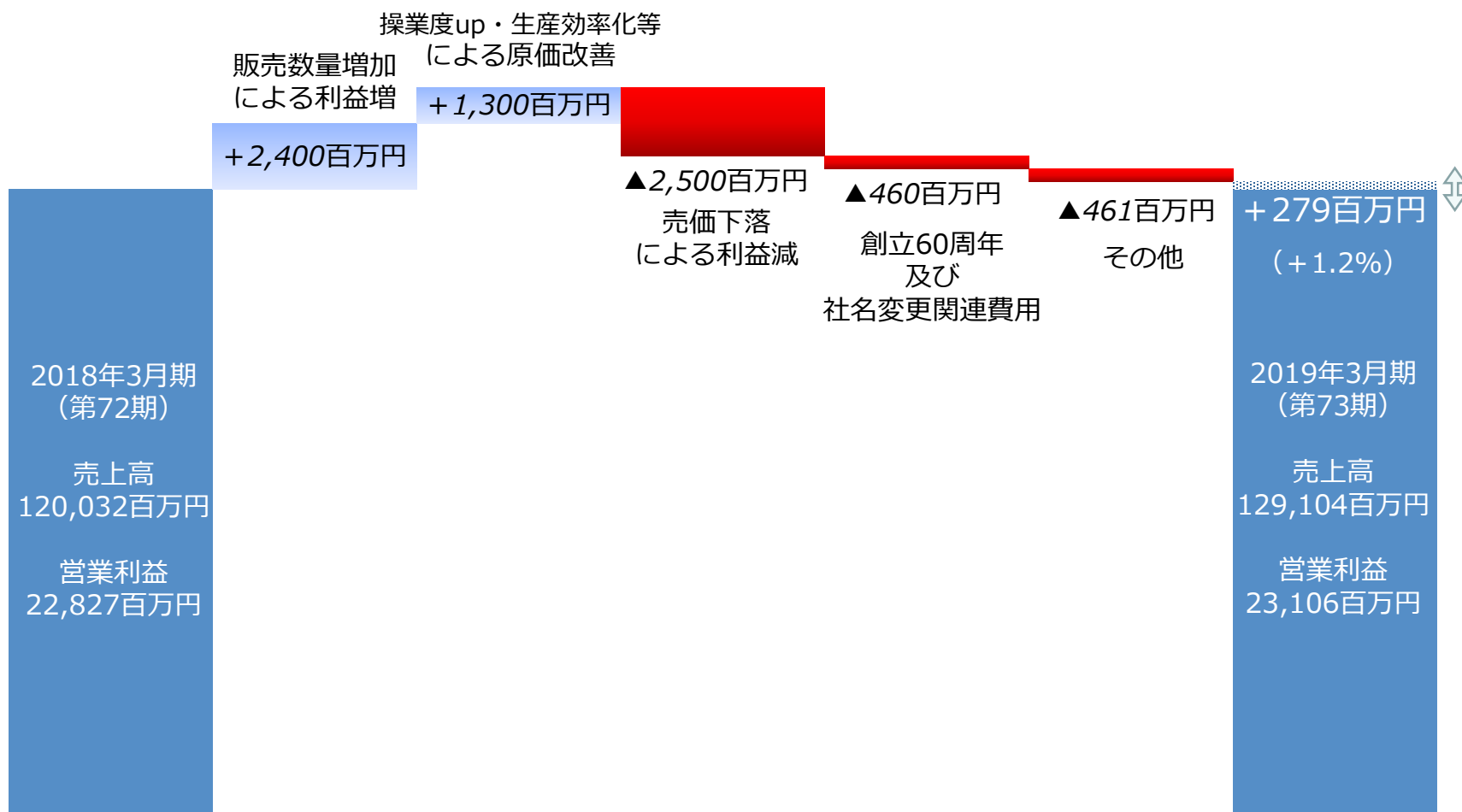
受注高



売上高



営業利益増減分析



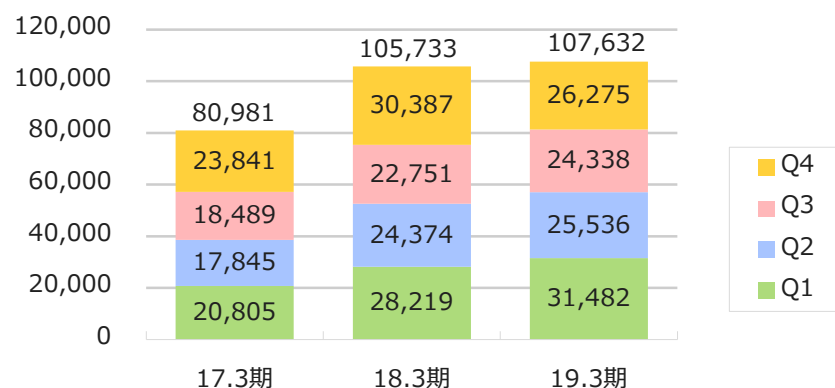
ロボットソリューション事業 業績

(百万円)

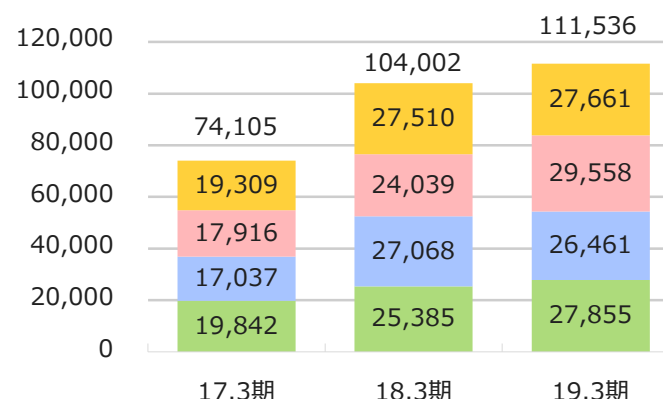
	18.3期 実績	19.3期 実績	対前年同期	
			額	率
受注高	105,733	107,632	+1,899	+1.8%
売上高	104,002	111,536	+7,533	+7.2%
営業利益	25,184	25,017	▲167	▲0.7%
受注残高	21,586	17,682	▲3,903	▲18.1%

注：受注残高につきましては、ファスフォードテクノロジー株式会社の連結開始時の受注残高を2018年3月期より遡及修正して含めております。

受注高

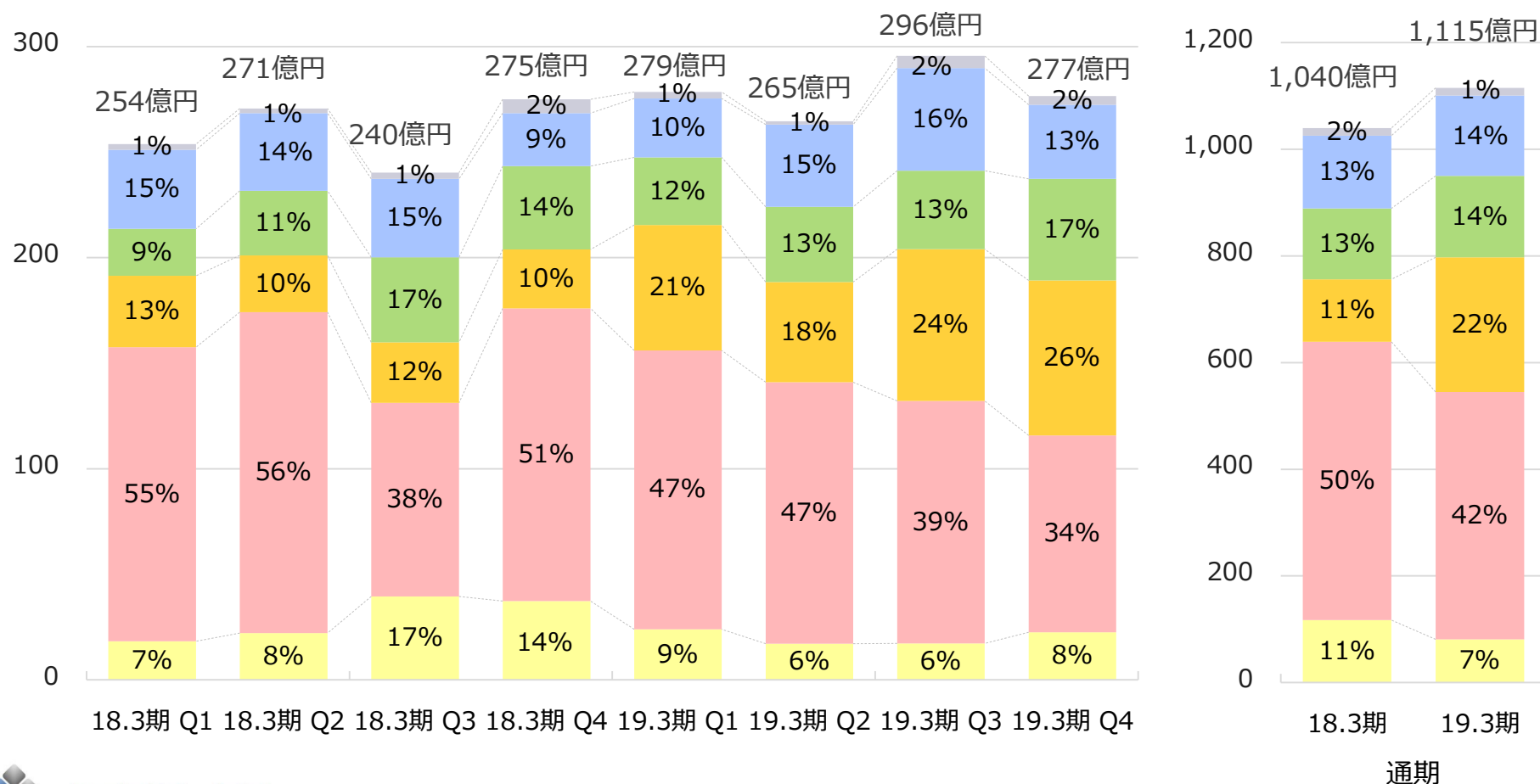


売上高



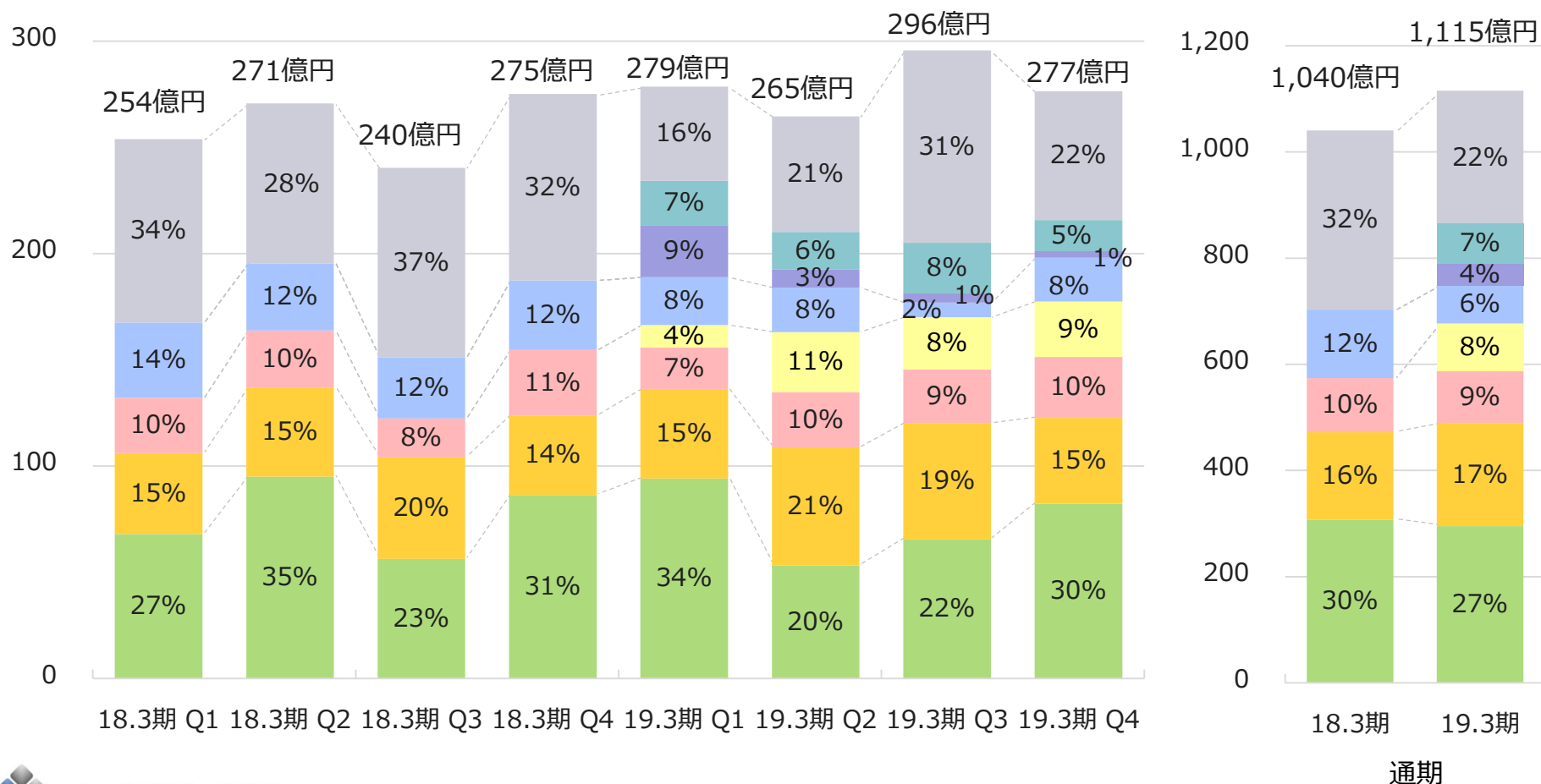
ロボットソリューション事業 地域別売上高

国内 中国 中国除くアジア ヨーロッパ 北アメリカ その他



ロボットソリューション事業 業種別売上高

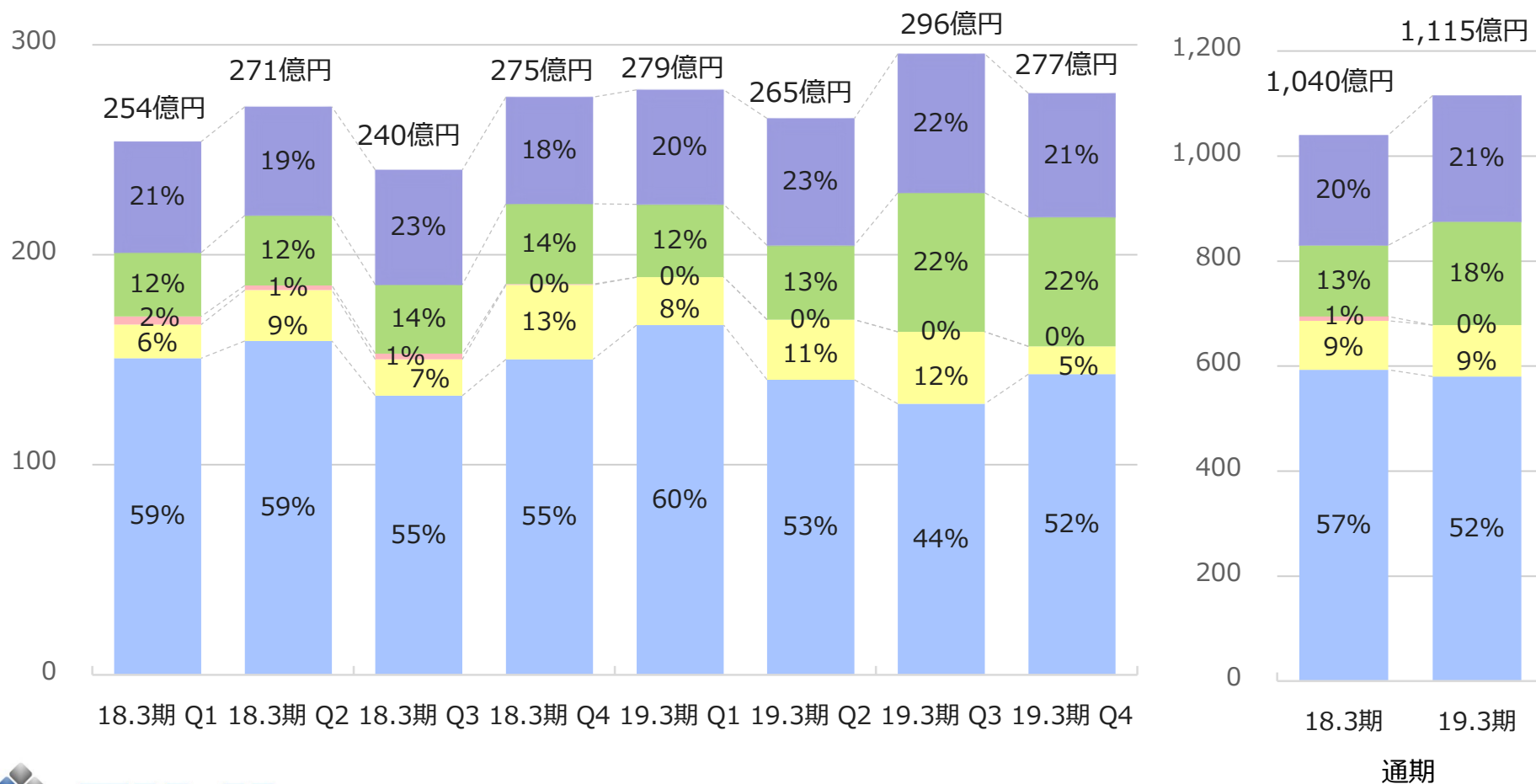
通信 車載 コンピュータ サーバー 家電 モジュール部品 産業機械 その他



ロボットソリューション事業 機種別売上高

■ 高速装着機
■ 汎用装着機
■ 中速装着機
■ その他装置
■ 部品・改造・修理

NXTシリーズ AIMEXシリーズ XPFシリーズ

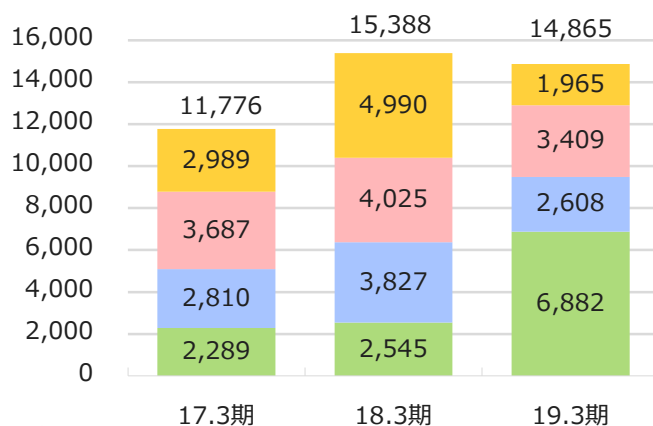


マシンツール事業 業績

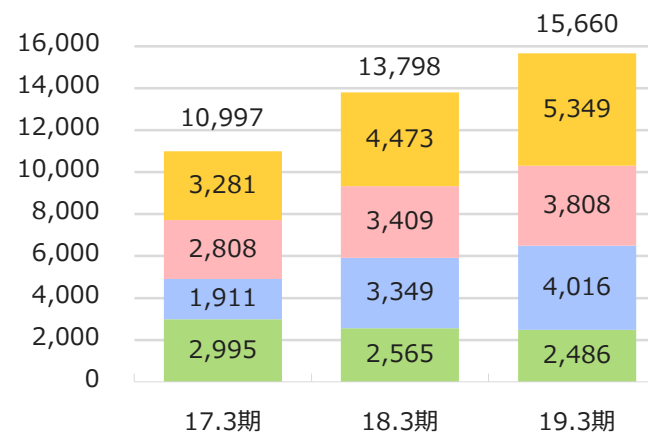
(百万円)

	18.3期 実績	19.3期 実績	対前年同期	
			額	率
受注高	15,388	14,865	▲523	▲3.4%
売上高	13,798	15,660	+1,862	+13.5%
営業利益	1,017	1,661	+644	+63.3%
受注残高	9,244	8,449	▲794	▲8.6%

受注高

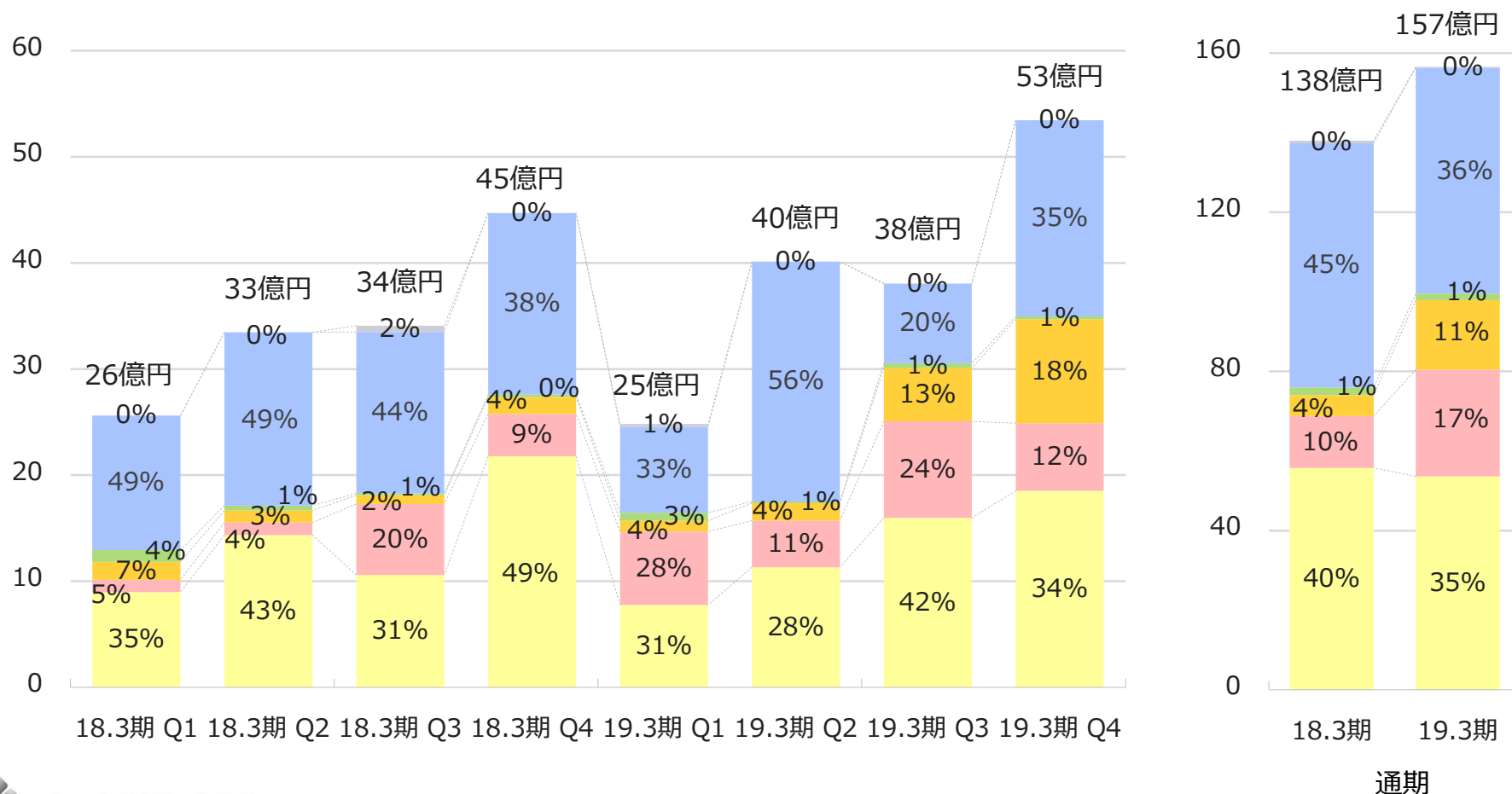


売上高



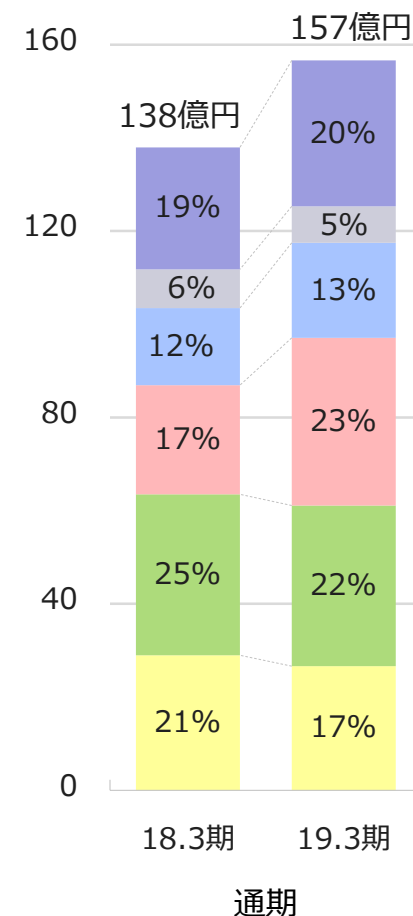
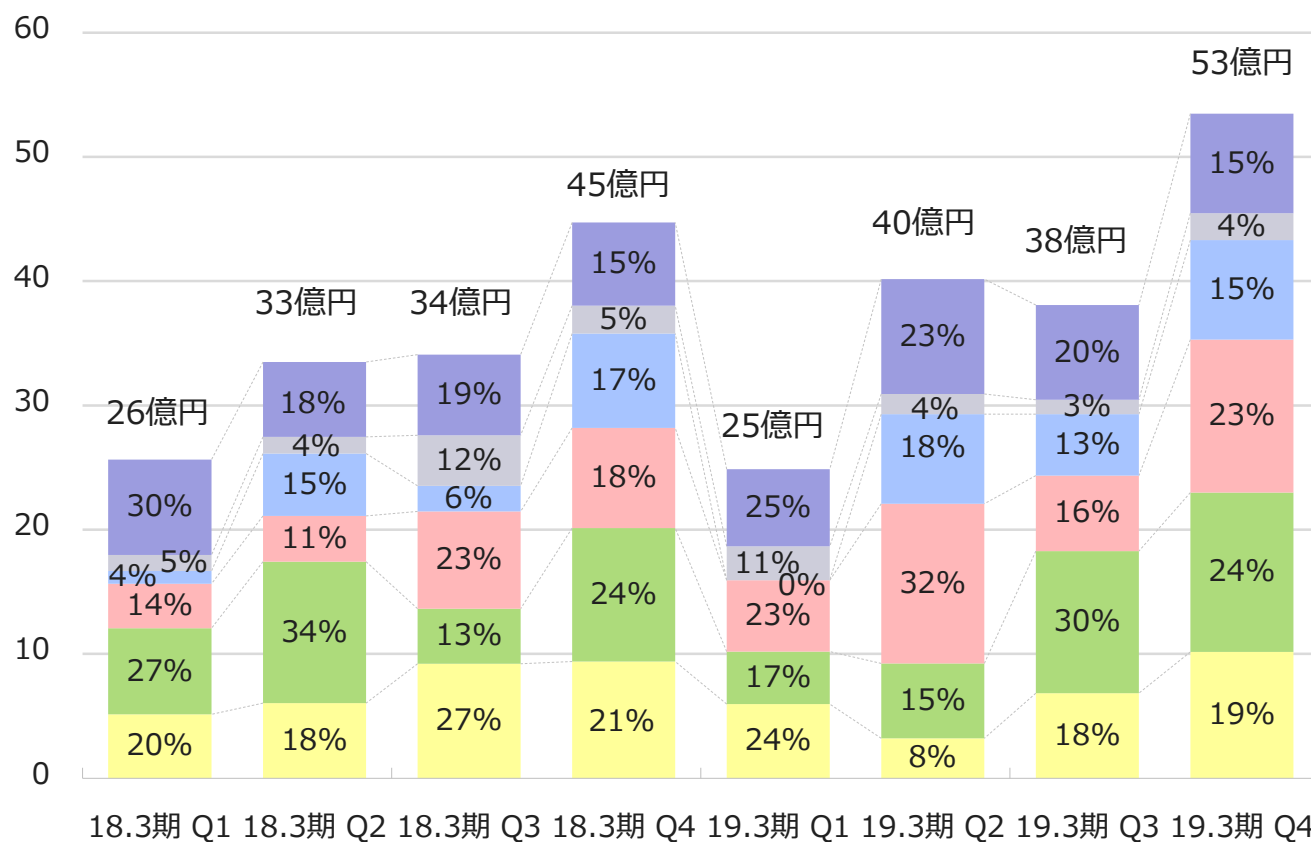
マシンツール事業 地域別売上高

国内 中国 中国除くアジア ヨーロッパ 北アメリカ その他



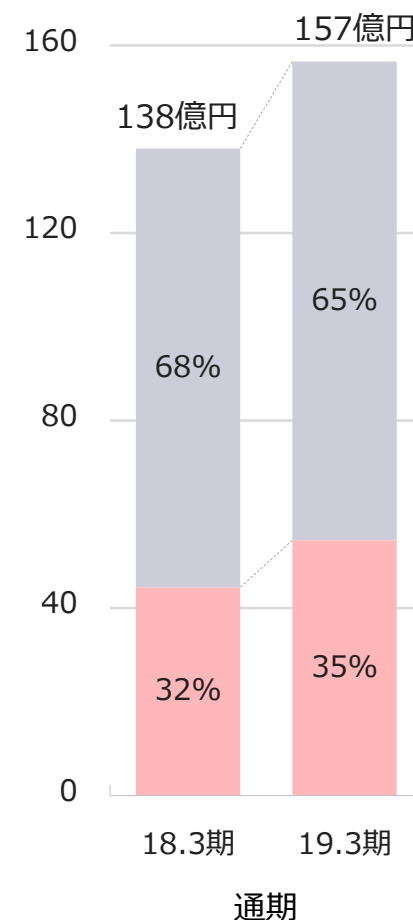
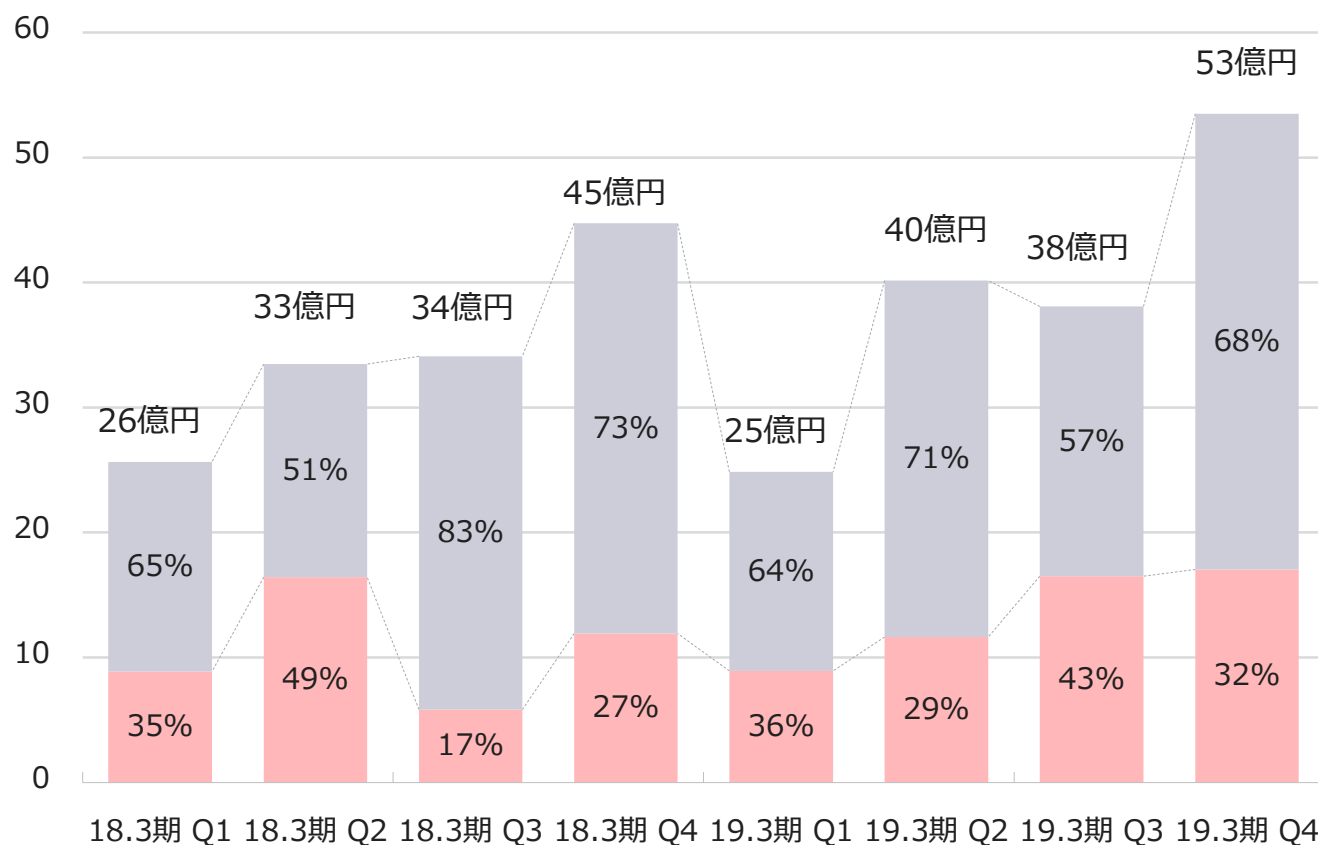
マシンツール事業 機種別売上高

ANシリーズ TNシリーズ CSシリーズ DLF n その他 部品・改造・修理



マシンツール事業 トヨタグループ向け売上高

トヨタグループ その他



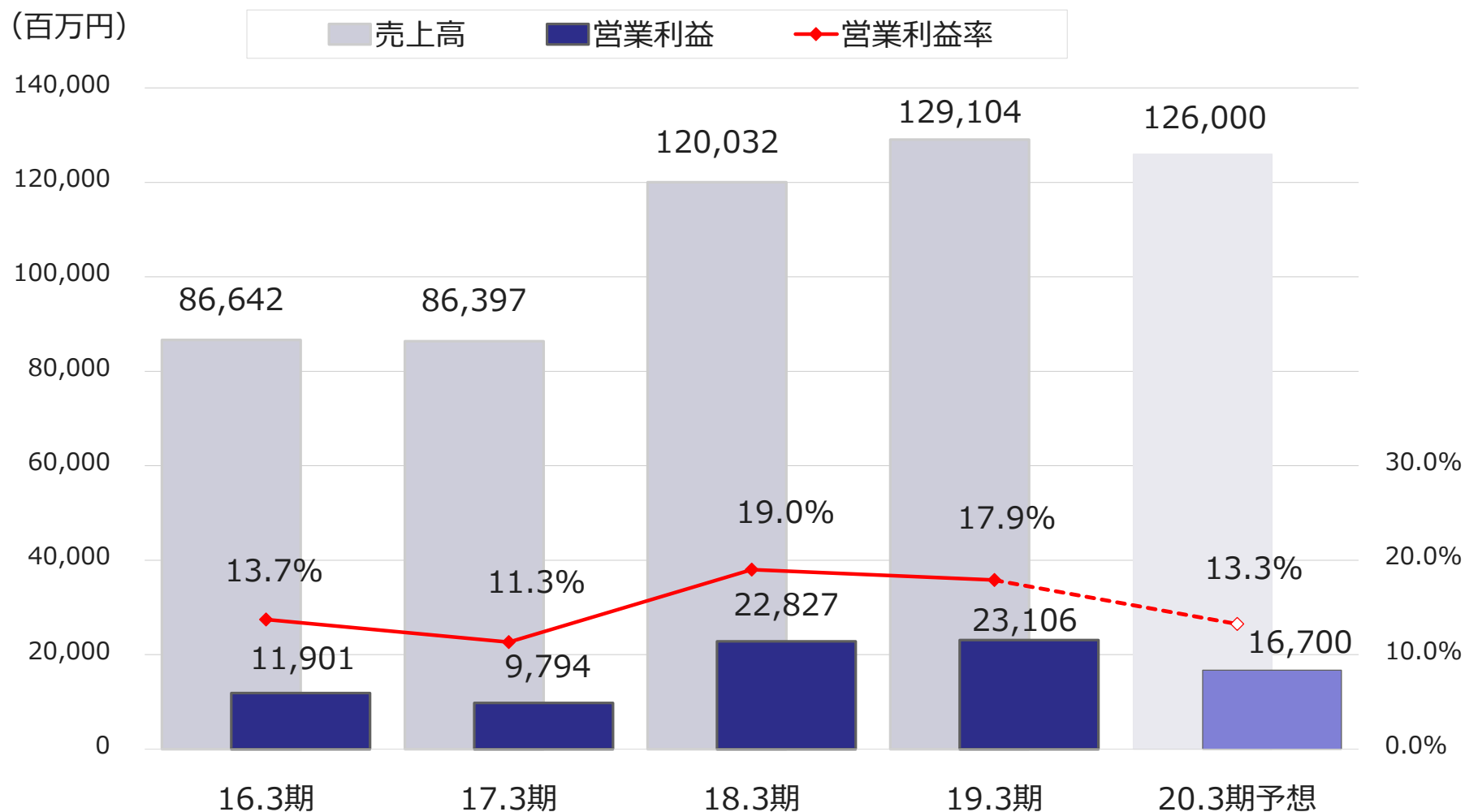
2020年3月期 業績予想

連結業績予想

(百万円)

	19.3期 実績	20.3期予想			
		上期予想		通期予想	
				対前年同期比	
				額	率
受注高	124,254	60,500	126,000	+1,745	+1.4%
売上高	129,104	60,500	126,000	▲3,104	▲2.4%
営業利益	23,106	7,600	16,700	▲6,406	▲27.7%
営業利益率	17.9%	12.6%	13.3%	—	—
経常利益	23,454	8,000	17,500	▲5,954	▲25.4%
当期純利益	16,855	6,200	13,000	▲3,855	▲22.9%

連結売上高・営業利益

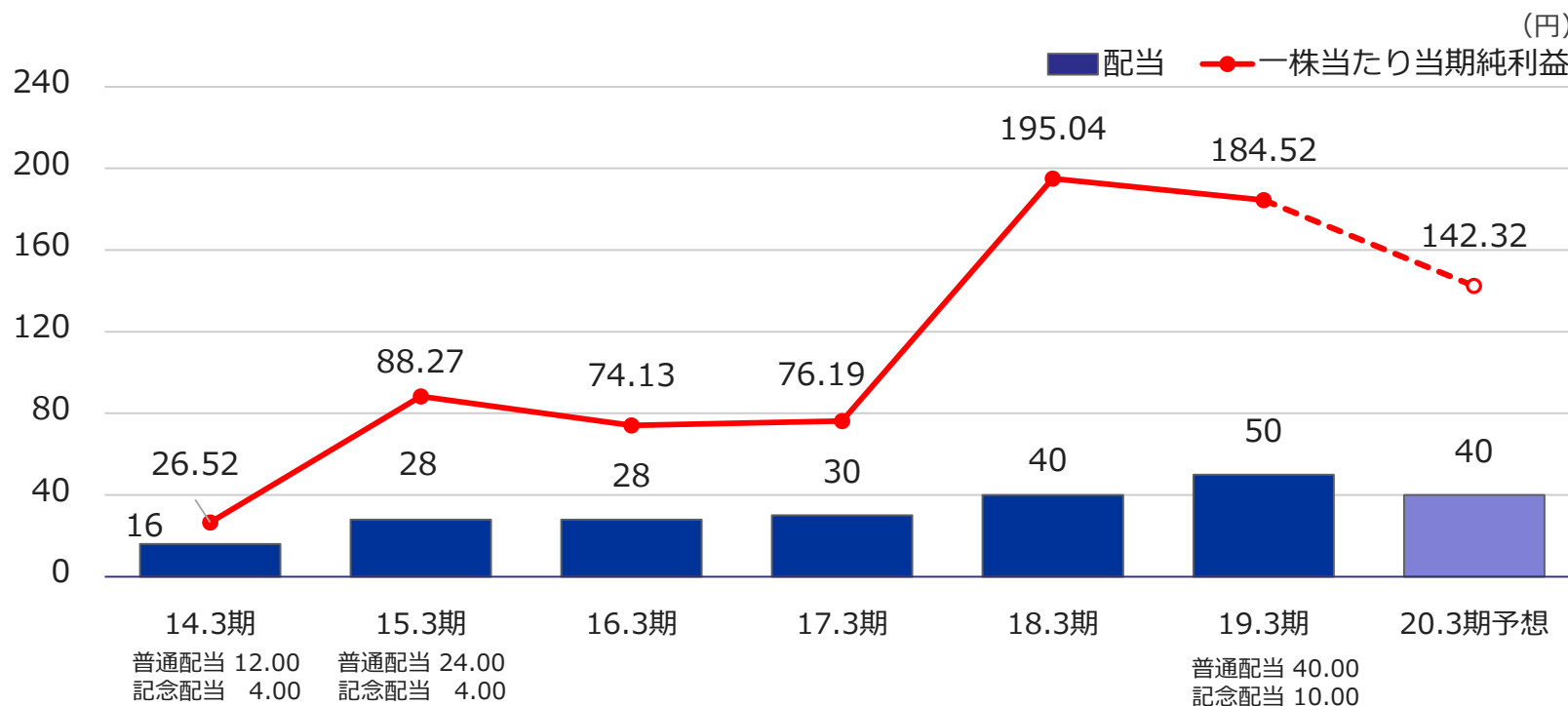


セグメント受注・売上予想

(百万円)

		19.3期 通期実績	20.3期予想			
			上期予想	通期予想	対前年同期比	
					額	率
RS 事業	受注高	107,632	53,000	109,500	+1,867	+1.7%
	売上高	111,536	53,000	109,500	▲2,036	▲1.8%
	受注残	17,682	17,682	17,682	±0	-
MT 事業	受注高	14,865	6,500	14,000	▲865	▲5.8%
	売上高	15,660	6,500	14,000	▲1,660	▲10.6%
	受注残	8,449	8,449	8,449	±0	-
その他 事業	受注高	1,756	1,000	2,500	+743	+42.4%
	売上高	1,907	1,000	2,500	+592	+31.0%
	受注残	170	170	170	±0	-

1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



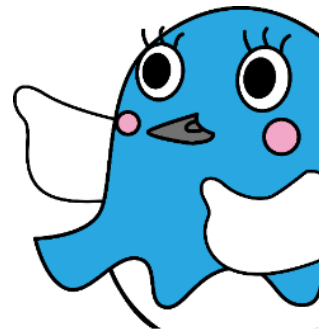
	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期 予想
配当性向	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	37.8%	39.4%	20.5%	27.1% (21.7%)	28.1%

() 普通配当の配当性向

事業方針・その他

コーポレートビジョン

デジタル革命を先取りした次世代型商品の開発
ならびに生産・販売革新により
業界NO.1ブランドを築く



ロボットソリューション事業方針

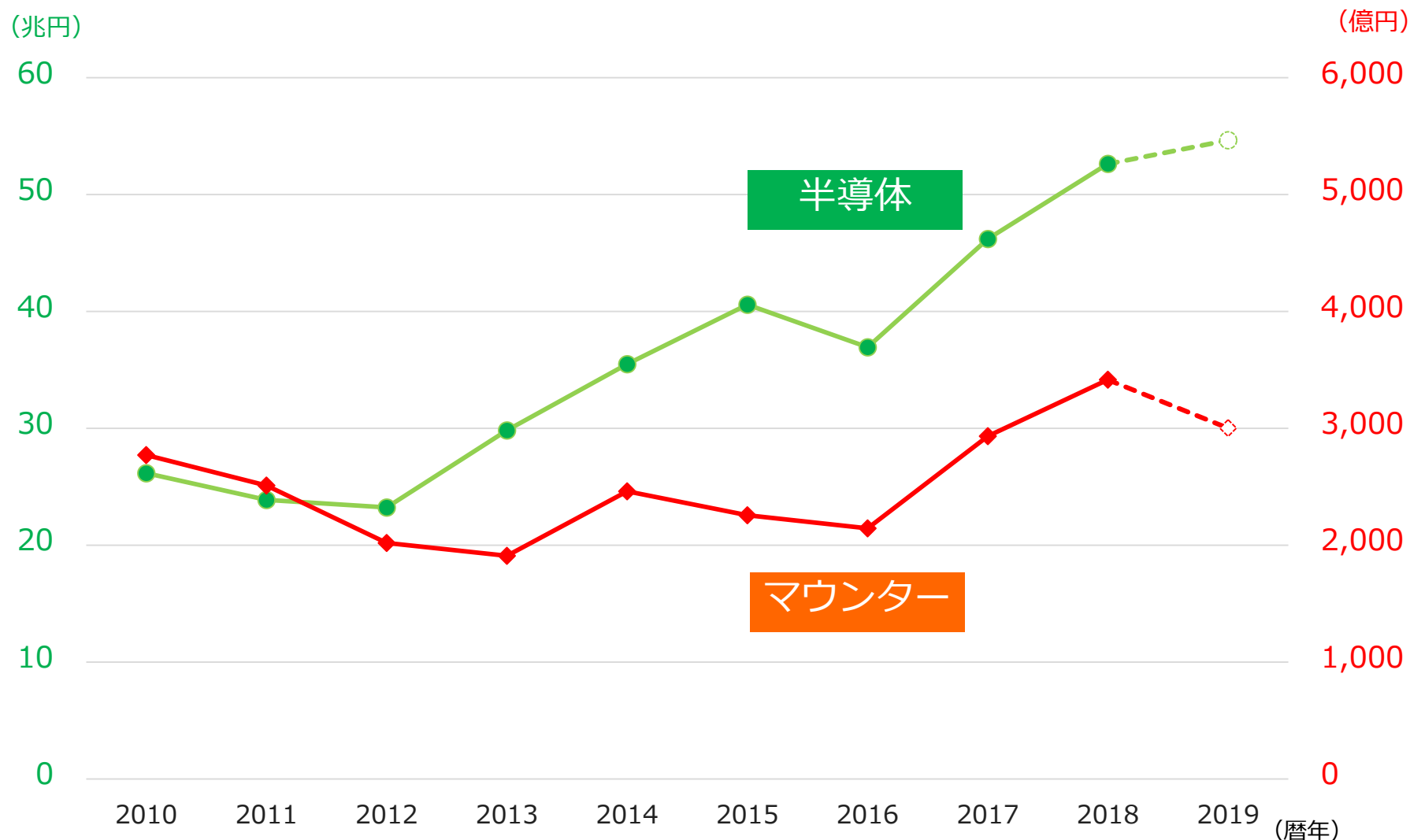
スローガン：FUJIブランド30

事業ビジョン：実装機市場シェア30%確保

事業方針：

- ・FUJIブランドの確立
- ・FUJIブランド商品の充実
 - 新製品およびSmart Factoryの市場展開-
- ・顧客満足度の向上
- ・次世代のものづくり改革

半導体とマウンターの需要比較



半導体 : WSTS マウンター : 各種データより F U J I 作成 (2019年は F U J I 予測)

ファスフォードテクノロジー社とのシナジー

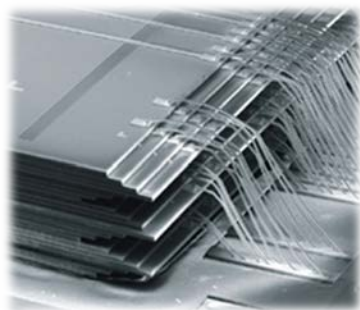
ファスフォードテクノロジー(半導体製造 後工程)とF U J I (SMT工程)の連携により、
両分野にまたがる新しい事業領域に対し、新たな価値を創造していきます



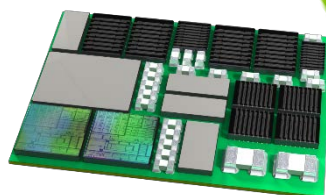
半導体製造 後工程
(Assembly)

SMT工程

DRAM
NAND

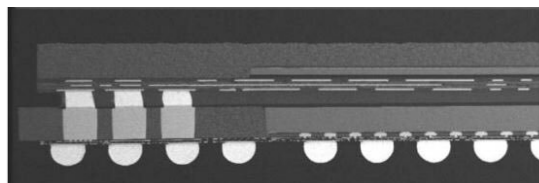


SiP,
モジュール



WLP

FOWLP/PLP



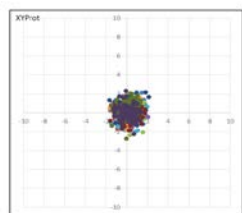
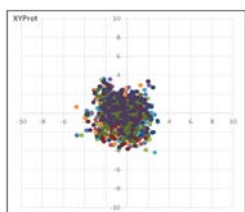
スマホ
車載etc



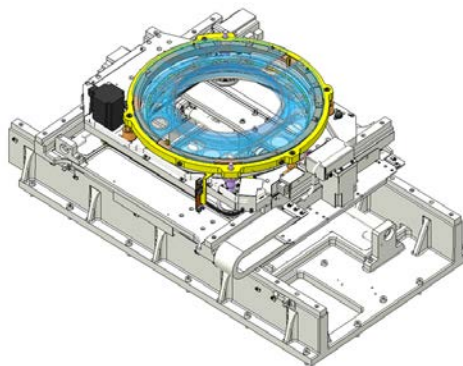
ファスフォード社の技術のFUJI装置への展開



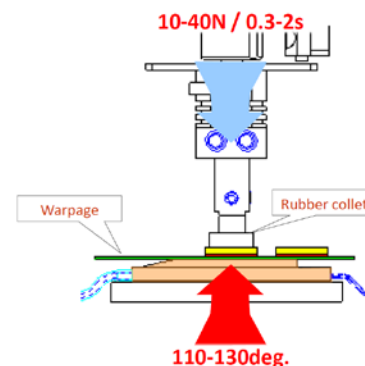
精度補正技術
($3 \sim 5 \mu\text{m } 3\sigma$)



ウエハエキスパンド技術



薄部品の吸装着加熱、
加圧実装技術



ダイボンダーの技術をFUJIのマウンターに
組み入れ、商品競争力向上

マシンツール事業方針

スローガン：利益の徹底追求

安定した黒字経営基盤を構築する

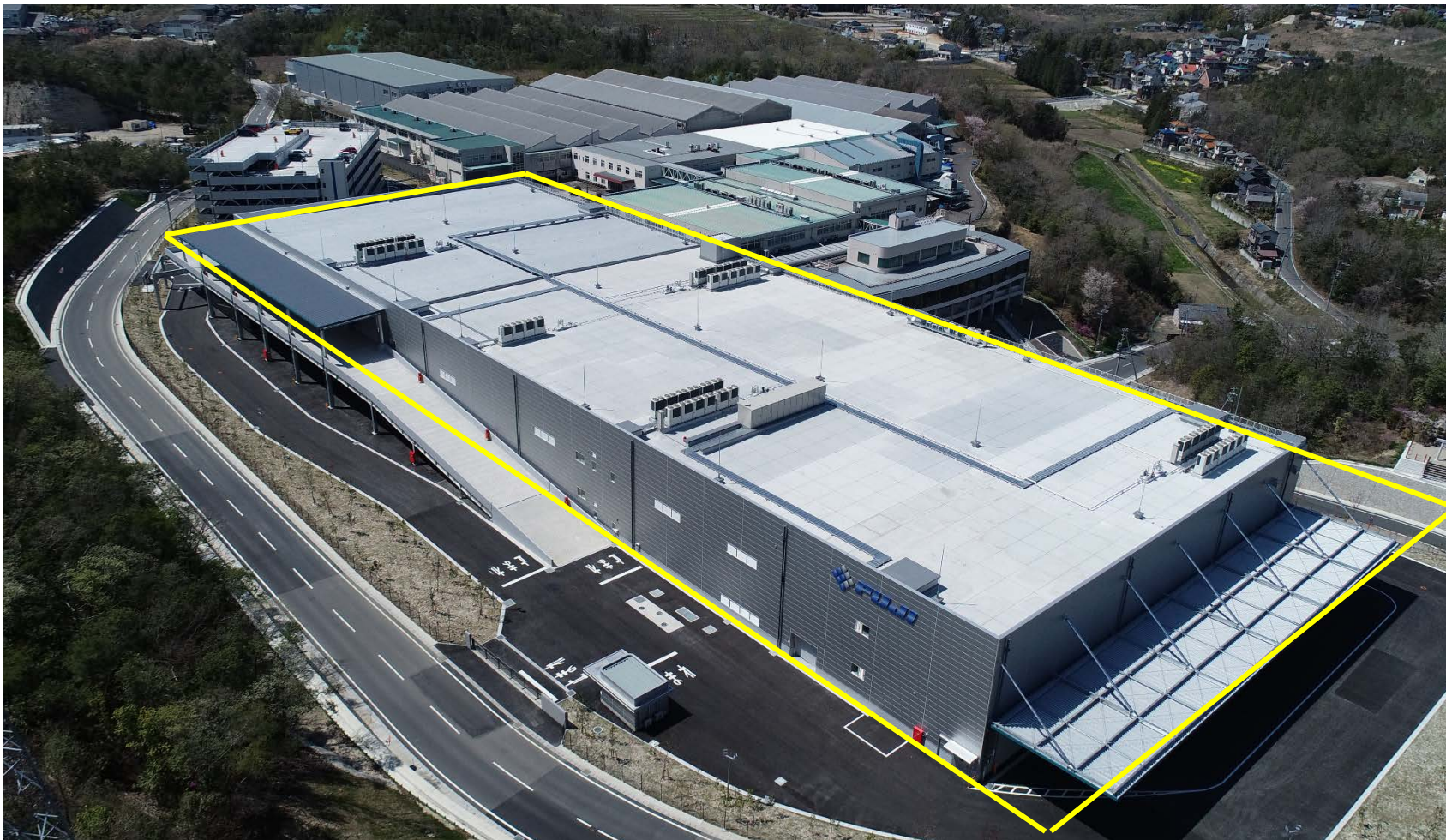
事業ビジョン：3×3（スリーバイスリー）を活かした
エコシステムの構築

3つの機能（販売、技術、生産）と3つの拠点
（豊田工場、昆山富士、フジマシンアメリカ）が互いの
リソースを有効活用して事業価値を向上できる
仕組みをつくる

事業方針：

- ・ 売上拡大と販売地域割合の改善
- ・ 販売戦略と連動した製品開発
- ・ 標準化とIoTによる生産性向上
- ・ お客様第一の品質保証体制

豊田工場に新棟竣工



延べ床面積 20,000㎡

1階 マシンツール事業、2階 ロボットソリューション事業の生産現場

新しいものづくり体制を構築し、マシンツール事業では生産能力30%up

成長戦略

ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発
を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・
ロボットシステム等
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



電子部品実装ロボット
(ロボティックマウンター)



半導体製造装置

工作機械

(ロボット搬送システム)



コアテクノロジー

解析技術

モーション
コントロール
技術

ビジョン
技術

IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

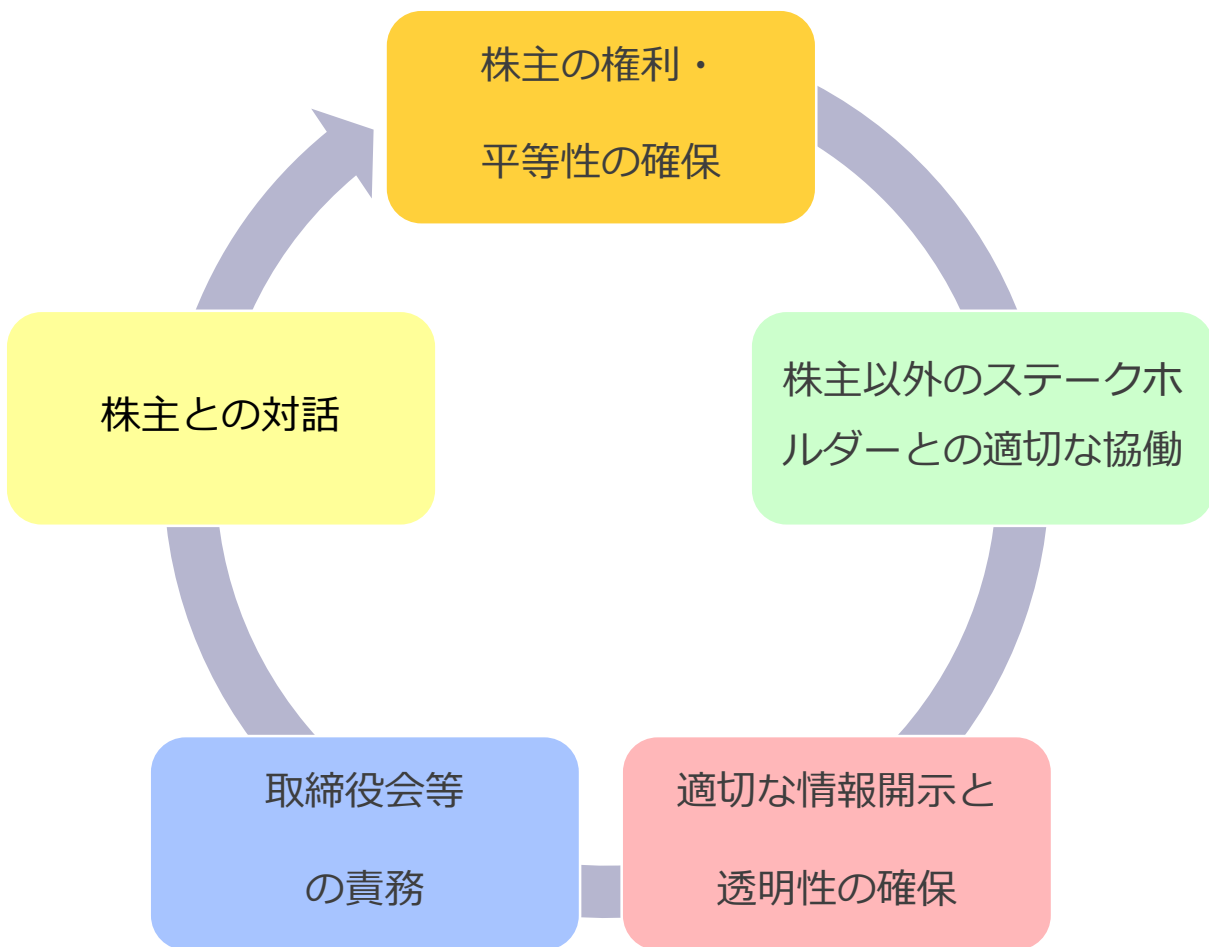
生産性

効率的な資金活用による迅速な施策実現

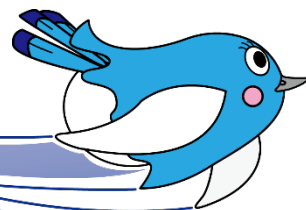
- ・販売力強化 ・研究開発 ・M&A
- ・技術提携 ・モノづくりアライアンス ・資本参加

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
 - ・ 英文開示の充実
 - ・ 招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
 - ・ 女性の活用を含む社内の多様性の確保
 - ・ 取引先・地域社会との絆
 - ・ 生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
 - ・ コーポレートガバナンス報告書等への開示
 - ・ ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
 - ・ 取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
 - ・ 独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
 - ・ I R説明会開催、S R面談の随時対応



FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI

【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社 F U J I